

# 急峻・狭隘な現道を改良し、安全で快適な道路整備 ～平成26年度260号棚橋舗装工事～

発注者：紀勢国道事務所  
受注者：大有建設株式会社



## 2006年(平成18年)入社(31歳) **藤田 健太郎**

今、国道260号棚橋舗装工事で現場代理人をしています。  
この工事は、度会郡南伊勢町から同郡大紀町までの6.7kmの隘路区間の解消を目的に計画された道路の残る1.8kmの平成26年度内開通を目指した工事です。工事現場は常に最終形を見越して施工し、開通に向けて不備のないように日夜努力しています。この道も地図に載って感激するまであと一歩なので最後まで気を抜かず日々精進していきたいです。

### ◎建設業を選んだ動機

子供の頃から道路やダムなど巨大な建設物に憧れており、これらを作った人たちを尊敬していました。それがきっかけでした。これらを「人間の手で作ったのか」と、いつか携わりたいと思いこの業界に飛び込みました。特に道路を選んだ理由は、今までいけないところへいく、いけると思いこの会社に入りました。

### ◎道をつくる重要性

道路工事といっても新しい道を作ったり、今までの道路を維持補修したりと仕事は様々ですが、なくてはならない仕事だと思います。その道があるから、物の流通が地方まで届き、緊急時の医療や災害時の緊急輸送経路として各地へ結ばれ、また、天災により孤立化する市町村への支援をするための重要なライフラインだと考えます。

人と人とを結ぶ重要な社会基盤一つだと思います。



### ～建設業を希望する方々へ～

建設業は何もないところのゼロからのスタートで完成までは計画をし、現地にて測量・調査し、施工する仕事です。忙しい日々になりますが、大勢の人間で一つのものを作り上げていき、完成した時の達成感や感動はたまらないです。

また、後々も残っていくものなので自分が作った道路上を車で走っていくときの感動もたまりません。一度その感動を味わってみてください。

